

表「5つの新たな協力構造」の主な内容

(1)より活力のあるイノベーション駆動型構造	・ライフ・ヘルスケア、人工知能(AI)、グリーン低炭素、現代農業(注1)、空間情報などの分野で10の共同研究所設立。
	・AI分野の協力強化、AIが実体経済に力を与えるよう促進、広く合意を得たグローバルなAIガバナンスシステムの形成。
	・宇宙デブリ共同観測センター、北斗(注2)アプリケーション協力開発センターの建設推進、有人宇宙飛行、民間航空機などの協力強化。
(2)より大規模な投資金融構造	・産業・投資協力フォーラム設立、中国・アラブ国家銀行連合体の拡大推進、中東工業化特別融資および中国・アラブ金融協力特別融資プロジェクトの実施加速。
	・金融機関の協力支援、アラブ諸国による中国での「パンダ債」(注3)発行とアラブ側銀行の人民元クロスボーダー支払清算システム参加促進、中央銀行のデジタル通貨分野での交流・協力深化。
(3)より立体的なエネルギー協力構造	・天然ガス分野の戦略的協力強化。
	・新エネルギー技術の研究開発と設備生産の共同推進、中国のエネルギー企業および金融機関がアラブ諸国で総発電容量300キロワット超の再生可能エネルギープロジェクトへ参加することに対する支援。
(4)より均衡の取れた経済・貿易の互恵構造	・中国による30億元の発展協力プロジェクトの実施推進。
	・アラブ側との二国間および地域の自由貿易協定交渉加速、電子商取引協力対話メカニズムの構築推進。
	・アラブ側の中国国際輸入博覧会への参加歓迎、アラブ側からの非エネルギー製品、特に農産物の輸入拡大。
(5)より広範な人的・文化的交流構造	・中国での「グローバル文明イニシアチブ中国・アラブセンター」設立、中国・アラブ改革発展研究センター(注4)の規模と影響力拡大。
	・シンクタンク連盟、青年発展フォーラム、大学連盟、文化・観光協力研究センターなどのプラットフォームの建設加速。
	・中国は毎年アラブ側から200名の政党指導者を中国に招待、今後5年間でアラブ側と1,000万人の観光客の相互訪問を目標。

(注1) 科学技術などを活用した農業などを指す。

(注2) 中国が運営する衛星測位システム。

(注3) 海外政府や企業が中国国内の資本市場で発行する人民元建て債券。

(注4) 2017年に設立された、中国とアラブ諸国の改革・発展とガバナンスに関する経験についての交流強化のためのプラットフォーム。研修、人材育成、研究などを行う。

(出所) 外交部